



日本遺産

「薩摩の武士が生きた町」

講演会

昨年、日本遺産に認定された「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群「麓」を歩く～」

そのキーワードとなる「外城制度」や「麓」についての理解をさらに深めるために講演会を行います。ぜひご参加ください。



日時

令和2年 **11月28日(土)**
13:30～16:30

会場

入来文化ホール(〒895-1401 薩摩川内市入来町副田6043番)

実施概要

- ① 日本遺産「薩摩の武士が生きた町」とは
鹿児島県教育庁文化財課
- ② 講演1「中世末期の戦乱と外城制度の始まりについて」
講師 三木 靖先生(鹿児島国際大学短期大学部名誉教授)
- ③ 講演2「麓の魅力～その多様な建築とまちなみについて～」
講師 鯉坂 徹先生(鹿児島大学大学院理工学研究科教授)



会場の前では、武家屋敷群「麓」をテーマとした小学生の自由研究作品を展示予定です。

「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群「麓」を歩く～」ストーリーの概要

勇猛果敢な薩摩の武士を育んだ地、鹿児島。江戸時代、薩摩藩は外敵からの攻撃に備え、本城である鹿児島城跡を中心とし、県内各地に外城を配置し、武士団を住まわせていました。

これは外城制度と呼ばれ薩摩藩独自の体制でした。

現在、鹿児島市の鹿児島城跡を中心に、外城の中心地である麓とよばれる武家屋敷群が県内各地に数多く残されています。

本城の鹿児島城跡や外城の武家屋敷群を歩けば、薩摩の武士達の往時の生き様が見えてきます。

※当日は新型コロナウイルス感染防止のため、マスク着用と手指消毒への御協力をお願いします。

メールまたはFAXでお申込みください。(定員に達し次第締切)

E-mail siteibun@pref.kagoshima.lg.jp FAX 099-286-5675

主催・
お問い合わせ

日本遺産「薩摩の武士が生きた町」魅力発信推進協議会 (事務局：鹿児島県教育庁文化財課内)

TEL:099-286-5355 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号

